

2012 夏合宿 報告書

概要

日時：2012年9月15日(土)～16日(日) 1泊2日

場所：ホテル ファミテック（栃木県・日光市）

参加者：M1：17名、M2以上：20名、事務局職員 **計38名**

目的・コンセプト：

- ・「大学生協院生ミーティング」2012年度前半の振り返りと後半に向けて
- ・いつもと違う場所で日頃時間をかけられない内容についてもじっくりみんなで話し合い、これを通して交流も深める

レジェンド：

<一日目>

ミーティング①：13：45～15：15

- 1、はじめに&自己紹介
- 2、院生ミーティング前半の活動振り返り
 - ・浅草めぐり、お台場めぐり、セクション（良かったこと、反省点、今後に向けて）
- 3、～大学生協・院生ミーティングについて知ろう
 - ・（大学）生協の成り立ち ・組織委員会/学生委員会・院生委員会/院生ミーティング紹介
- 4、アイスブレイキング

ミーティング②：15：30～19：20

～グループワーク～「利用者」の立場からのビジネスコンテスト～

- 1、考える時間・導入&事例紹介
- 2、発表する時間（各班ごとに発表&質疑応答）
- 3、評価・アンケート記入

【目的】

ビジネスプランを提供することで、ビジネス分野への関心を深めると共に、今後社会に出るための鍛錬を積むことができます！生協組織としては、院生の知見を事業に活かすことができます。

【テーマ背景】

2012年度初旬、東京ブロック内の会員生協で、店舗や食堂の利用者数が落ちていることが問題となりました。そこで、今回はこの改善策を考えることが大きなテーマ。

【考えるポイント】

今回は、「利用」に焦点を当てて考える！

先ほど、大学生協は組合員による「出資」「利用」「運営」から成り立っている記述しましたが、うちの「利用」のみに焦点を当てて考えます。

私達学生にとっても、生協事業における「利用」は最も身近な存在であり、生協組織全体にとっても、学生・院生がどういう商品・サービスを望んでいるか、流行・時代・生活スタイルの情報が知りたいからです。

このプランニングに当たる参考資料として、2011年度、売り上げ・利用者数が芳しくなかった会員生協2大学、売り上げが比較的安定・向上している会員生協2大学をモデル大学として選定

しました。モデル校 4 大学の基本情報・生協の事業情報・各キャンパス周辺状況を合わせたデータを用意しました。まず、ここから読み取れる傾向を各班で分析&解決策を「利用者の立場に立って」自由に発想してもらって、改善に向けた方法を考えることが今回のビジネスプランニングです。

夕食&交流 19:30~

<二日目>

ミーティング③: 9:15~12:30

- 1、新院生向け冊子について概要発表&意見交換
- 2、全国院生セミナーに向けて
 - ・全国院生委員会&全国院生セミナーの内容紹介
 - ・院生ミーティングの広報・渉外
- 3、秋の交流会について提案&企画決め
- 4、夏合宿の総括&今後の予定<5分>
 - * amazon student アンケート記入

昼食

交流: 13:30~16:10

「体験教室」(ソーセージ作り・陶芸)・「軽く運動」に分かれて交流。

ビジネスコンテスト (グループごと)

1班: <提案> 「食堂利用の向上を」

○来ない理由

1) 混雑

①会計時

- ・チャージ式のカードを使用 (Suica・PASMO とも連携)
- ・利用時間によってポイントを付ける
- ・たまったポイントは、他大学生協でも使用可

②メニュー決定時

- ・サンプルケース前にたまってしまい、新年度に「学食は混んでいる」というイメージをあたえがち。

→お盆に季節限定メニュー・オススメメニューを貼り、並びながらメニューを決められるようにする。

③席数が少ないこと (相席しづらい)

- ・利用人数や時間で〇人席 などを作る

オマケ: タンブラーの使用 (スタバのような感覚で利用できる) で安くなる

<分析>

- ・A大学&D大学の比較分析を行った。
チョイスの理由⇒総合大学であること、キャンパス数が多いこと。
- ・A大学は広いのに学食利用者数が少ない
- ・B大学の食堂利用にも着目

↓↓↓

「文具を買う」という行為は毎日ではないが、「物を食べる」行為は毎日。そのため、今回は食堂利用に焦点を当てた。

<質疑応答>

Q：メニューをお盆にというのは、全メニューか？

A：季節限定やオススメメニューなど一部。とにかく混んでいるイメージを改善させたい。

Q：ポイントをつけるということだが、既に Suica と連動しているところもあるが、どう差別化をつける？

A：他の大学でも利用できるということを押す。あとは、「ポイントがつく」というだけで利用したいと思える人が増えるだろうというイメージ戦略もある。

Q：チャージ支払いオンリーにするのか？現金支払いは？

A：両方並行しておこなう。

意見：ETCのように、チャージ支払いのレジと現金のレジを別にすると、もっとスムーズになると思う。

2班：<提案> 「B大学にカフェタイム導入」

ニーズをとらえる！

～お一人様ニーズ・スイーツ系男子・オシャレを気取りたいぼっち系の人からのニーズ～

○「14：00～のカフェタイム」

- ・ランチで混雑する後の時間帯の集客を図る
- ・レイアウトを1人使用に
- ・テーブルに仕切りを置くだけで一人でも気軽に来れるようなカフェ風にチェンジ
- ・仕切りを置くだけなので、コストもかからない。
- ・スイーツ・コーヒーなどを置く。
- ・B大学のネームバリューを生かしたメニューを企業・専門学校とのコラボをして作っても良い。企業から協賛金なども入るかも。

<分析>

- ・9割が男子という特徴を逆にとらえる。
- ・普段はいきづらいけど、実はおしゃれなカフェ気分一人でスイーツを食べたい男子もいるかも。

<質疑応答>

Q：大学のネームバリューを用いるということだったが、これは外向けか？

A：これは対外向けを想定していた。

Q：仕切りを使用するということがあったが、研究室で食べに行く等、集団での対応はどうするか？

A：基本的にこのカフェタイムは14時以降からスタートするので、集団でのランチタイムの時間は回避する。また、簡単な仕切りなので、取り外すことも可能。引き出し式にするのが良いかもしれない。

(Q：9割が男子ということだが、そのうち何割がスイーツ系男子？)

(Q: スイーツということだが、近くにあると思われる自由が丘に勝てますか?)

3班: <提案> 「生協にもっと動いてほしい」

- ・情報をもっと広報してほしい (ビラ等)
- ・SNS の利用 (Twitter、Facebook)⇒気軽に広報できる
- ・〇〇フェア等の宣伝
- ・出張弁当等で利用しやすいように。

<分析>

- ・コンビニは CM 等での宣伝が活発なため、今どんな商品が売っているかがわかる。その場合、どうしてもコンビニが近くにあればそちらに行ってしまう。
 - ・生協がどのようなフェア・特集をしているのかもっと情報がほしい!
 - ・実際に東大内にあるお寿司屋さんでは、Twitter を活用しており、「今日は新鮮なまぐろが入ったからぜひ」というと、みんな行きたくなる。
- ⇒やはり情報が大事!! 発信があれば、行きたくなる! 外への流出を防ぐことができる。

<デメリット>

- ・SNS 等を使用した発信は労働の邪魔になってしまう恐れも
- ・実際に出張は大変

<質疑応答>

Q: 出張販売ということだったが、お弁当だけか?

A: 基本的にはお弁当だけ。生協店舗まで遠い・何を売っているかわからない等の理由で、店まで買いにいかずコンビニに流れてしまう。その流出を防ぐためにも、実際に赴けば買う人も増える。

Q: B 大学では出張販売が減っているが?

Q: 実際にコンビニの方に流れてしまうというのは、本当に生協からの情報がないからなのか? 例えば生協からコンビニと同様の発信があったとしたら、みんな生協を選ぶ?

A: 生協は安いし、いろいろなフェアもやっているから、おそらく生協に行くと思う。知らないで、安定のコンビニに流れてしまう。

4班: <提案> 「食堂の充実を」

- ・スマートフォンと連動 (アプリの使用)
- ⇒オススメメニュー情報、空席情報、ピーク時間外の割引クーポン、各国名物料理
- スマートフォンを持っていない人のために、メール配信も
- ・国際関係の強化
- ⇒メニューの充実 (メニュー+雰囲気作り)・・・「〇〇国フェア」
- ⇒海外を真似たバーのようなイメージ
- ⇒イベントを行う

<分析>

- ・周囲との競合が大変。
- ・生協は情報が少ない。

- ・国際関係も充実させると良いのでは？

<メリット>

- ・混雑緩和
- ・食堂の雰囲気工夫によりあきない
- ・ダイレクトに情報を受け取れる

<質疑応答>

Q：始めからメールにしなかったのは、「スマートフォンのアプリ」というキャッチーさを狙ったのか？

A：それもある。また、マックのアプリのイメージ。

Q：国際的な雰囲気を取り入れてのバーの設置とあるが、お酒は出すのか？

A：お酒は出さずとも、海外の雰囲気を取り入れることが大事だと思う。

5班：<提案>「海外研修推進のサポート」

- ・海外研修に対する説明会を実施し、海外に行くと言うハードルを下げしてほしい。
- ・安いプラン・パックの提供などを提案
- ・サポートもしっかりおこなう（海外研修に行く人同士での交流会の開催等）
- ・手続きの簡易化

<メリット>

- ・顧客単価の大きさ（一度に入るお金の単価が大きい）
- ・書籍や食堂との相乗効果（一緒にガイドブックを買ったり、英語の教材を買ったり）

<デメリット>

- ・学生の予算や時間
- ・他社旅行会社・海外研修推進企業との競合

<質疑応答>

Q：これは組織委員会が行うのか？生協として行うのか？

A：生協としてのつもりだった。

意見：組織委員会である学生委員会も協力して行くと、より身近に感じられて良いと思った。

Q：主なターゲットは？学部生？院生？

A：一応院生のつもりでいたが、実際にはどちらにも対応できるように。

Q：この海外研修へのサポートは、既に生協がやってくれている、当たり前のことのように感じるが？

A：大学によってもサポートに差があるので、他の大学の良いところを取り入れて海外研修へのサポートが弱いところも積極的に取り組んでいこうというイメージ。

6班：<提案>「組合員の心♥をつかむ愛される生協へ」⇒広報！（知らないのは損）

- ・もっと広報に力を入れてほしい！（紙だけではだめ！）（他団体との違いを学生目線で広報）

- ・月や季節ごとでその時期のニーズに合わせたイベントを開催
- ・イベントの開催を通じて、生協のことを知ってもらいたい（見て聞いて触って生協を知ってもらおう）

<季節ごとのイベント>

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 4月：花見・交流・新生活（一人暮らし） | 5月：メンタル相談会（心理士さん）講演会・BBQ |
| 6月：就活フェア・進路相談会 | 7月：テスト応援フェア |
| 8月：旅行応援フェア | 9月インターン報告会・進路相談会 |
| 10月：食生活改善フェア | 11月：他大学とスポーツ大会 |
| 12月：SALE！ | 1月：新年会（各大学毎） |
| *1～3月：旅行応援フェア | |
| 2月：バレンタイン成功大作戦 | 3月：記念品（卒業）・新生活（新入生） |

<分析>

- ・生協は素敵な取り組みをたくさんしているが、それが知られていない。

<質疑応答>

Q：広報ということだが、広報形式はどうやるのか？

A：ビラを配る等で宣伝する。

Q：生協に親しみを持ってもらうための広報ツールの一環として、あげてくれたような季節ごとのイベントを開催するという認識で良いか。

A：そういうイメージ。

♪夏合宿アンケート集計結果♪

【質問項目】

1.「院生ミーティング上半期の活動(浅草めぐり・お台場めぐり・セクション)」については、知っていましたか？

- よく知っていた：(M1：11、M2：15、学年不明：5)
- 少し知っていた：(M2：2、M2：1)
- あまり知らなかった：(0)
- まったく知らなかった：(0)

2.「生協の成り立ち・大学生協」についての説明は、知っていましたか？

- よく知っていた：(M1：2、M2：12、学年不明：2)
- 少し知っていた：(M1：5、M2：4、学年不明：2)
- あまり知らなかった：(M1：5、学年不明：1)
- まったく知らなかった：(M1：1)

また、説明はわかりやすかったですか？(未回答1)

- とてもわかりやすかった：(M1：4、M2：7、学年不明：4)
- わかりやすかった：(M1：9、M2：8、学年不明：1)
- わかりにくかった：
- とてもわかりにくかった：

3.「組織委員会・学生委員会」についての説明は、知っていましたか？

- よく知っていた：(M1：1、M2：7)
- 少し知っていた：(M1：3、M2：7、学年不明：3)
- あまり知らなかった：(M1：6、M2：2、学年不明：1)
- まったく知らなかった：(M1：3)

また、説明はわかりやすかったですか？

- とてもわかりやすかった (M1：5、M2：6、学年不明：3)
- わかりやすかった (M1：8、M2：10、学年不明：2)
- わかりにくかった
- とてもわかりにくかった

4.「院生ミーティング」についての説明は、知っていましたか？

- よく知っていた (M1：6、M2：12、学年不明：4)
- 少し知っていた (M1：6、M2：4、学年不明：1)
- あまり知らなかった (M1：1)
- まったく知らなかった

また、説明はわかりやすかったですか？未回答

- ・とてもわかりやすかった（M1：5、M2：9、学年不明：3）
- ・わかりやすかった（M1：8、M2：7）
- ・わかりにくかった
- ・とてもわかりにくかった

5. 「アイスブレイキング～お絵かきしりとり～」は、楽しかったですか？

- ・とても楽しかった（M1：8、M2：13、学年不明：3）
- ・まあまあ楽しかった（M1：5、M2：3、学年不明：2）
- ・特に
- ・つまらなかった

6. グループワーク～ビジネスコンテスト～は楽しかったですか？ つまらなかったですか？

どこが楽しかったか、つまらなかったかを教えてください。

- ・とても楽しかった（M1：8、M2：10、学年不明：4）
- ・まあまあ楽しかった（M1：5、M2：6）
- ・少しつまらなかった（M1：1）
- ・つまらなかった

【楽しかった点】

<M1>

- ・様々な人の意見を聞くことができたところ。
- ・話をして議論をすることで一つのものの答えを出す所。
- ・自分達が関わる生協についての議論だったので、身近に感じられ、楽しめた。
- ・自由闊達な議論が出来た！
- ・今までビジネスモデルについて考えたことがなかったので新鮮だった。
- ・実際のデータを元に、具体的な解決策を提案するという実践的な経験が出来たので。
- ・各版でオリジナルプランを作れたところ！
- ・他の人たちと話して意見交換をし、1つのプランを提案することができた点。
- ・自分の視点で、時間をかけて考えることができた。
- ・データの見方や、膨大な資料があるなかで、様々な見方が分かった。
- ・アイデアがどんどんふくらんでいって形になった。

<M2>

- ・意見を言い合って、どんどんイイアイデアがでてくるとこ。
- ・みんなの意見が聞けたこと。
- ・様々な意見を聞き、斬新なアイデアを共有することができた点。
- ・各班の個性が出ていた点
- ・たくさんの項目が出ること。
- ・アイデアを沢山出して、その中から絞り込んでいくプロセスが楽しかった。
- ・みんな一生懸命にアイデア出したこと。グループ内でのアイスブレイキングができたこと。他のグループの発表のしかたを見ることができて、自身の発表の参考になったこと。

- ・具体的な大学の現状を知れて、その対策を考えられた点。実際の大学モデルだったので、よかった。
- ・グループのみんなで「貢献」に向かっていたことの元気なかんじ。
- ・普段考えない生協のことを真剣に考える機会になった点
- ・ミーティングメンバーと深く議論、また質問できたこと。
- ・意見があまり重ならず、たくさん出ていた。
- ・様々な大学の事情が分かって良かった。
- ・具体的な大学の例から問題点の分析をして、解決策を考えるのはとても難しかったけど意見を出し合ってまとめるのは面白かった。

<学年不明>

- ・いろいろな考え方を知ることができた。
- ・一つの資料から、各班さまざまなアプローチで改善策を考えていた点。
- ・グループワークの議題だけでなく、進行の方法もある程度自分たちで決めながらできた点。
- ・自分の大学生活と課題が密接に関わっていた点。
- ・100分あつという間でした。ビジコンを初めて行ったのですが、グループ内でたくさんの案が出て、とても楽しかったです。
- ・作業しながら、皆の学生生活や考えていることを聞いたこと。

【つまらなかった点】

<M1>

- ・時間が足りなくて話が詰められなかった。
- ・時間が厳しい。
- ・インターンのグループワークと似ていて、散々やらされていたため。
- ・最終的に、同じ様な案が多かったこと。
- ・分析ポイントが多かった。

<M2>

- ・もっと積極的になって～!!
- ・もっと時間が欲しかったです。
- ・やっぱり時間が…。
- ・データ資料が多かったので、課題をデータから適切に導くことが難しかった。
- ・どうしても内容が似通ってしまうこと。
- ・最終的にまとめた案だけでなく、実現不可能でも他に出た面白いアイデアをもっと知りたかった。
- ・アイデアではなく、既存のシステムの洗い出しになってしまっていた。
- ・必要だと思ったデータをすぐに検索し、ひっぱり出せるようになってなかった。
- ・発表形式を、もっと大きな模造紙一枚とかにした方がやりやすかったかも。
- ・情報量が多くて分析が難しかった。

<学年不明>

- ・データ量が多すぎる。
- ・案が被ってしまう点がたびたびあった。

7. グループワーク～ビジネスコンテスト～は難しかったですか？

どこが難しかったかも教えてください。

- ・とても難しかった（M1：2、M2：1、学年不明：1）

- ・まあまあ難しかった（M1：11、M2：13、学年不明：3）
- ・割と簡単だった（M1：1、M2：1、学年不明：1）
- ・簡単だった

【難しかった点】

<M1>

- ・自分の意見をみんなに伝えること。
- ・意見を集約する所。
- ・売上の上下について類推するしかなかったので、難しかった。
- ・目的と対象大学（学生）の明確化。
- ・提案した企画への実在性を考えたとき。
- ・具体的な数字だけ見ても分かりづらかった。
- ・データから何が論点になるのかを抽出するところ。
- ・どこまで実現が可能かを考える点など。
- ・グループによって、とらえている規模の大きさがちがって比較しづらかった。
- ・どの点が問題なのか探す点が難しかった。
- ・4大学全キャンパスの比較ポイントの多さ。

<M2>

- ・データが多くてフォローしきれなかったです…
- ・意見を引き出すこと。
- ・自分の意見（しかも反対）を伝える点。
- ・各人の意見がなかなかまとまらなかったところ。
- ・生協ならではのプランとなると、企業との差を出すのが難しかった。
- ・知らない大学の事を文字ベースでみること。イメージしにくい。
- ・データ資料が多かった点。
- ・データと各大学の状況を読み取ること。先入観を失くすためにアルファベットにしたが、結局各大学の名前を明らかに詳細を知らないと判断できないこと。
- ・譲歩が多すぎて、焦点を定めにくい。
- ・具体策を考え、デメリット・メリットを軸化あるという理論的思考。
- ・グループを共通の方向に導いたり、軌道修正すること。
- ・意見をまとめるところ。チェックポイントにしたがおうとすると難しかった。もう少し自由にした方がやりやすいかも。
- ・情報量が多かった点。
- ・データが多くて分析の始め方が難しかった。

<学年不明>

- ・データ量が多くて、話の焦点を合わせられない。
- ・資料の情報に短時間で目を通さなくてはならない点。
- ・資料が多く、情報の分類・分析が大変だった。
- ・発表をまとめる（形にする）のが難しかった。
- ・何に焦点をいぼれば良いのか。
- ・意見の統一

8. 今回の「ビジネスコンテスト」のような企画は、自ら率先してやりたい企画でしたか？

はい (M1 : 11、M2 : 13、学年不明 : 3)

いいえ (M1 : 3、M2 : 1、学年不明 : 2)

その他 : (M2 : 1) ⇒企画内容によって

9. 今回のグループワーク～ビジネスコンテスト～が、今後院生生活を送る上での自分自身のスキルアップにつながったと思いますか？

【選択肢を選んだ理由を教えてください。】

・とてもそう思う (M1 : 4、M2 : 6、学年不明 : 1)

・他大学の人と真面目に議論する場が少ないので。・就活でグループワークは必須だから！・実践的な力（社会に出て役に立つ力）が付くから。・様々な理由や見方があることが分かり、group で考えることは重要だと思う。・視野広がった！・研究以外で「分析→考案→発表」踏む機会はなかなかないから。・自分の意見を人に分かりやすく伝える練習になった。・様々な条件を考えるという広い視野・どうやって議論をすすめるか、またどう質問するか（内容）を学べた。・グループで分析してまとめていく経験が少ないので。・分析力・自分の考えを伝える力、発想力の強化につながったと思うから。

・そう思う (M1 : 8、M2 : 9、学年不明 : 4)

・普段グループディスカッションのようなことを研究生活でやらないので、新鮮でした。・一つのテーマを皆で話し合って答えを出すのは様々な場面で役に立つと思う。・今後、生協を利用する際、ビジネスという新しい視点から見るができると思う。・自分の考えを具現化して人前で発表するよい練習になりました。・今までプランの提案はあまりやったことがなかったので、勉強になった。・アイデア出し、まとめ、プレゼント等
・普段とは違う頭の使い方をしたから。・視点を変える練習になる。・思考分析力があがる。・物事の考え方が変わりそう。・発表の仕方。データの読み取り方を学べたから。・意見のまとめ方がわかった。・あまり大学内で院生間の企画をすることがないので、機会があれば・・・・楽しかった・グループワークやプレゼンテーションスキルは重要となるため。・自分の学生生活を客観視することにつながるから。・アイデアを発展させるプロセスが参考になった。

・あまりそう思わない (M1 : 2)

・院生は研究センターなので、グループでなにかをする必要はあまり感じない。・割と慣れている。

・そう思わない (0)

10. 今後も、今回のような「ビジネスコンテスト」のような企画をやってみたいと思いますか？

【選択肢を選んだ理由を教えてください。】

・とてもそう思う (M1 : 1、M2 : 6、不明 : 2)

・分析する力がつくから・スキルアップが出来るので・企画が好き・みんなで議論をする場を積極的に作っていきたい・みんな経験していること（考えていること）が違うので、いい刺激になる・スキルアップ・回数をこなすことで、意見の異なるメンバーとの意見の調整の練習になるため・あっという間の120分であったから。

・そう思う (M1 : 12、M2 : 9、学年不明 : 2)

・はじめは難しそうで、ビジネスコンテストに対してとっつきにくい印象だったが、やってみると楽しかった

から。・経験を多くしたほうが頭がまとまる。・有意義に感じた。・スキルアップや視野が広がる。・今回初めてやってみて、おもしろかったため。・上記の様な力（実践的な力）が不足していると感じているので。・他者の意見やアイデアを知れる良い機会になるので。・自分たちのプランが実現したら嬉しいと思うから。・面白かったの

で。・新しい人々とやることで、またさらに新しい考え方になれる。・違うテーマでもやってみたい。
・色々な意見が聞けておもしろい。・事業について考える良いきっかけになりました。・考えることはとても大事だし、視点の勉強になるから。・色々な意見きけて面白かったー！自分の意見（反対）を言うの難しい。・今回の反省を生かしてさらにスキルアップしたい。・初なので、2回目、3回目と色々考えてみたい。・すごく発展的だったから。・意見を全員が出し合えるので、交流の上ではすごく有益。・就活のシュミレーションと院生ミーティングの活動とを同時にできるから。

・あまりそう思わない（M1：1、学年不明：1）

・データ収集等の準備作業が多そう。

・そう思わない（0）

11. 院生ミーティングという組織の中でやってみたい企画がありましたら、その内容を教えてください。

<M1>

・皆でスポーツ系・定期刊行物の発行。簡単なやつでいいので。・国際交流イベント

<M2>

・研究発表・グループディスカッション・ディベート・スポーツ大会・研究にちいてざっくばらんに語る場・恋愛セクション・もっと突拍子もないテーマでディスカッション・就活総合企画（働く考え方を発見する読書会などの企画、即興術をきたえる(度胸をきたえる)企画）・コンスタントな新聞・・・とかフリペつくりたい。・スポーツ大会・ワイン飲み会（ボジョレー・ヌーボの解禁に合わせて）

<学年不明>

・ダイエットセクション・理系と文系の学生間のより親密な交流・国際交流留学生との交流

たくさんのご意見、ご感想、労いのお言葉…ありがとうございました♪

☆ビジコン優良賞 詳細発表☆

今回のビジネスコンテストでは、各班オリジナルのステキアイデアが出そろいました！

1班「食堂利用の向上を(ポイントカード、レジ利用の工夫)」

2班「B 大学にカフェタイム導入」

3班「生協にもっと動いてほしい」

4班「食堂の充実を(スマホと連携)」

5班「海外研修推進のサポート」

6班「組合員の心♥をつかむ愛される生協へ」

発表の時間では、みなさんに以下の4つの簡単からチェックシートに記入しつつ聞いてもらいました♪

①課題分析力(5段階評価)

②貢献度(5段階評価)

③実現可能性(5段階評価)

④独創性(5段階評価)

◆統合して、最も優秀なビジネスプランだと考える班に○

最後のもっとも優良だと感じた班にチェックをしていただき、今回のビジネスコンテストでの優良班の選出を行いました♪♪夏合宿内では、最優良班の班のみの発表でしたが、今回はその後の集計も踏まえて、それぞれの部門ごとのチェック平均点の数字から、紹介したいと思います！

* 優良賞(○の数が多かった班)

第1位:2班！(14 票)

第2位:同列で、4班&5班(7票)

ちなみに、4つチェック項目の平均点は、2班が 3.79 点と、数字の上でもトップでした♪

* 課題分析力賞

1位:4班(3.83 点)、2位:5 班(3.75 点)

* 貢献度賞

1位:6 班(3.79 点)、2位:1班(3.61 点)

* 実現可能性賞

1位:5 班(4.07 点)、2位:3 班(4.00 点)

* 独創性賞

1位:2班(4.07 点)、2位:3 班(3.62 点)

全ての班で、いずれかの観点で評価されているようでした！

2 班の独創性の平均点は他班と比べても圧倒的に高かったため、こういった新しいアイデアも評価されたのかもしれないね♪

みなさんが考えてくださったビジネスプランが、今後生協事業に貢献できるように、結果の広報や職員さんに直接伝えるなどの対応をとっていきたいと思います！

ビジネスコンテスト、本当におつかれさまでした☆☆

(議事録)

【報告事項】

4、新院生向け冊子について

タイトル：院生 Style Book2013

コンセプト：「院生生活を充実させるためのキッカケ」

対象：院生および大学院進学を考えている学部生（2012）

コンテンツ：合宿にてコンテンツ案の募集グループワークなどでコンテンツ決定予定。

～夏合宿でのコンテンツ案募集の流れ～

- 1：アイデア出し（院生生活を充実させるコンセプトを意識して）
- 2：グループワーク
- 3：各班発表

1) コンテンツ案発表（各班）

1班：院生の年間スケジュール（修論、学会、IMの行事）、セクション活動の充実、文献や役立ちサイトの紹介

2班：院生あるある（一言メッセージで集める）研究に関するものをアンケートで取る。学部生にまつわるものや、就活での苦労、教授のグチ

3班：留学について（海外旅行も）就職や進学へのつながり、留学のキッカケ、情報や不安（現地の生活）Q&A方式 サクセスストーリー風でタイプ別や海外インターン

4班：休日の過ごし方 人付き合いのパターン 項目別で詳しく（ボランティア、サークル、IM、スポーツ、カフェ

5班：院生の2年間（目次形式）院生の夏休み事情や研究テーマの集め方、ドクターの3年間

6班：地方から来た人への東京案内、カフェ、買い物情報、ご当地自慢（雑誌からの情報）

2) 編集委員追加募集

あと1、2人追加募集中。

5、全国院生セミナーについて

1) 全国院生セミナー

日時：2012年10月6、7日

場所：国立オリンピック記念青少年総合センター

参加対象：大学院生、学部4年生、上級生活動に興味ある学生委員

？全国院生委員会とは？

東京ブロックでの活動を報告。

他ブロックでの活動について院生ミーティングに持ち帰る。

<2012年度の活動内容>

1：全国院生セミナーの企画、運営

2：広報活動

全国院生委員会 HP の更新。

院生ステーションの発行。

活動報告書の作成。

3：院生向けの共済パンフレットの考案

2) 渉外・広報部門 設立案

目的：

院生ミーティングの活動を発展させる。

院生ミーティングの活動を円滑に行えるようにする。

<目的達成の条件>

院生ミーティングを会員生協や生協内部で広く認知、理解させること。

<アプローチ方法>

生協組織内に院生ミーティングの活動を積極的に広報する（月報紙）

各会員生協内に赴きその会員生協の活動も行うように働きかける。

全国院生委員会などに積極的に参加し、院生ミーティングの活動の周知と他ブロックの活動の吸収を行う。

現状：

1、生協組織内での知名度の低さ

2、内輪的（院生ミーティング内で完結しがち）

3、継続的活動にかける

6、秋の交流会について

大卒のテーマの決定と幹事を決めた。

コンセプト：院生の本質に沿うように（例：就活、スキルアップ）

（より活発な交流を目指し、新しい友人作りや深い関係作りを目標とする。）

（夏の交流会同様、基本的に「交流」）

（また、学業や研究で疲れた心と体を癒す。）

企画：

<M1 要望多かったもの>

相談会（気軽に話せるもの）

社会人、M1、M2の人生相談会（OB、OGも招くのか？）

<課題点>

OB、OGを招く意味（大学で行っているものとの差）

人数確保の点

<M2 要望多かったもの>

グループディスカッション（ディベート）

ワークショップ（自分の研究が社会にどう生きるか）

意見交換会

セクションを外部向けに発信（ブース形式）

OB、OG には「進路」を対応してもらおう。

<全体での意見>

座談会（食事しながら）→講演→ワークショップ→会食

7、夏合宿の総括と今後の予定

<総括>

参加してくれた M1M2 ともにグループワークを通して交流することが出来た。

また、ビジネスコンテストや各企画で有益な意見交換が出来、企画進行を行う上で参考になる意見が多く挙げられた。

<今後の予定>

10月定例ミーティング

日時：10月13日（土）14時～18時

場所：旧渋谷会館

詳細は追って Asakusa ML にて連絡。